

平成 26 年度墨田区立墨田区立竪川中学校経営報告書

平成 27 年 3 月 9 日

学 校 目 標	徳育・知（智）育・体育の調和のとれた、人格の形成をめざす。
目 指 す 学 校 像	授業が充実し、生徒同士、生徒と教職員の間信頼関係のある学校
目 指 す 子 供 像	①心豊かな、美しい感性をもった生徒 ②意欲的に学習する生徒 ③たくましく、何事もやりぬく生徒
目 指 す 教 師 像	人権意識を高め、生徒や保護者を中心に、現実を直視し情熱をもって職務を遂行する教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
各教科等指導	学校は、子供たちに確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	ICT 機器の積極的活用を推進すると共に、今後も、教師による 1 分前行動、各種検定の受験を奨励することを継続する。また、土曜補習、すみだ塾への参加率を向上に努める。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	墨田区特別支援教育推進事業における年 3 回の巡回相談を実施し、特別支援を必要とする生徒情報の共有化と支援方法の研修を継続する。	A	A
	学校は、子供たちの将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	A	今後も、キャリア教育や校外学習を総合的な学習の時間に計画し、問題解決や探求活動を通して、自己の生き方を考えさせていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	先生方が子供たちに、きめ細やかな指導をしていただき、子どもを褒めて下さり「褒めて伸ばす」という一番大事な子育てをして頂きました。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
生活指導等	学校は、子供たちの問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	今後も、生活指導部を中心に、各学年での生徒情報の共有化を図り、迅速な対応で、全体指導、個別指導を実施し、問題行動の予防と解決に取り組んでいる。	A	A
	学校は、子供たちが基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	道徳、特別活動を中心に、人権教育の重点として、命に関わる学習を積極的に推進している。 教育活動全般において、良好な人間関係を築く基本となる挨拶の大切さを気付かせていく。	B	A
	学校は、子供たちの安全を確保するための取組を行っているか。	A	毎日、管理職、教員、管理員による校舎巡回を行い、故障、破損箇所の修理・修繕に迅速に対応している。また、大規模修繕、改修については、庶務課施設係と密に連携を取っている。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	A	生徒の授業アンケート、保護者・地域学校関係者評価、各行事の際の保護者アンケートを実施し、保護者・地域の意見や要望を把握している。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	竪川中学校を選んだ保護者が、その理由として、「いじめ」に関して安心できる、進学情報や生徒情報をすぐに報告してもらえて良いとの意見がいただいている。 挨拶については、学校内で挨拶をしない生徒が多い、こちらからしないと生徒達から積極的にはしないので、生徒全員が、自ら保護者、地域の人に挨拶ができる生徒を育ててほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	授業始業1分前に、教員が教室に入り、内容のある50分の授業を実施している。今後も各種検定の受験を奨励し、トリプル3合格者を表彰していく。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	家庭学習の習慣化に向けて、生徒全員に家庭学習帳を用意し、毎日1ページ以上やって提出させて点検をする。理解力が十分でない生徒には、放課後のすみだ塾・土曜日のすみだチャレンジ教室への参加を三者面談の際に、進めて、全ての教科で評価をオールB、3以上の評定を目標としている。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	電子黒板を各階に配備し、全教科、全教員でIT機器を使用出来る環境を整え、常に授業改善に取り組みさせる。また、玄関に大型モニターを設置し、毎日の予定・行事の様子・体育館での式典の様子を伝えられる様にしてある。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	授業始業1分前の取組、家庭学習帳の取組により、落ち着いた授業ができ、学習習慣の定着に役立っているとのこと意見をいただいている。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価	改善策
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	A	学年だよりを毎週発行、学校だよりにより各学年内容を組み込み毎月1回保護者、地域に向けて発行し、学校全体の教育活動の取組の様子を伝えている。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	A	学校行事では、PTA、青少年育成委員会の協力の基に、実施できている。また、土曜授業以外の土曜日に学校支援地域協力会の協力による受験対策講座を実施している。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	学校公開など、毎回参加させて頂いていますが、もっと沢山の保護者の方々が来られると良いと思います。先生方の努力に感謝しておりますが、豎中フェスティバル実施、町会の防災訓練等への参加により、昨年度より特色が分かりやすく出せて、生徒数の増加につながったと思います。			

2 平成26年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域対象の学校評価アンケートは、回収率は90%を超え悪くなかった。 ・「特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる。」については、幼保小中一貫教育の取組を行っていることを保護者・地域にも十分に伝わっていない。現在学校として力を入れている点について、今後も学年だより、学校だより等でも強調して行ってほしい。 ・部活動は、学校選択の重要な要素であり、力を入れていきたいところですが、さまざまな事情で保護者や生徒の期待に添うのは難しいかもしれない。地域としても、地元の人材を活用して、なるべく協力していきたいと思っている。
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立竪川中 学校 校長 西村 均 印